

1. 全体で合意が必要な点 (3月26日の展望委員会で決定するため、それまで、該当箇所はノータッチのまま、その他の部分の改稿をお進めください)

①アルファベットや算用数字を半角にするか全角にするか

“Sustainability”などの単語は半角で既に統一されていますが、略号や頭字語などはどちらにするか (CSTIにするのかC S T Iにするのか)。

査読者の中に、担当章だけ片方に統一した (文面を直接修正した) 委員がいますが、他の章ではそれと反対の統一を行った場合、全体が不統一になります。

②外来語の表記をカタカナ語中心にするか日本語訳中心にするか。原語を併記するか。

査読者によって意見が分かれ、修正の依頼内容もバラバラになっています。

査読とりまとめ委員としては、日本語で置き換えられ、その日本語が流通している場合は、日本語をメインにし、カタカナはルビなどで添えてはどうかと思いましたが、「日本語が流通している」かどうかは人によって判断が異なりそうです。

特に問題だと指摘されたのは、「包摂」の語です。「インクルーシヴ」や「インクルージョン」は一般に知られているとは言いがたく、しかし、「包摂」も、この文書で使用されている用法が始まったのは比較的最近であるため、知らない一般読者は多そうです。

さらに、このような場合 “inclusion” を添えるのかどうか。

③基本用語の統一。

- ・「科学」か「学術」か

学術会議を構成している諸学をまとめて言う際の呼び方を「科学」とするか「学術」とするか、同様に「科学者」と総称するか別の呼称にするか、という問題があるという指摘がありました。

(現状では不統一です)

学術会議において度々議論されてきた点ですが、「未来からの問い」ではどう統一するか。

- ・「障害 / 障がい (者)」をどちらにするか。

- ・二酸化炭素 か CO₂ か。(総論と各論で異なる表記がとられている)

④語句説明

用語説明はまとめて設けることになっていますが、他に、

「略称 (とくにアルファベットの文字列) の意味の一覧表を付けた方がよい。簡単な説明がつけばさらに良い。そうでなければ、各項目内で、初出の際にすべて説明を付ける必要がある。」という意見がありました。

2. 改稿の際、全員に注意していただきたい点 (すぐに取りかかかってください)

①URL の最終閲覧日の表記のないところについては付ける

②項目によっては、参考文献の付け方が未完成ではないかと思われる

3. 複数の章に関係する、要検討事項 (3月26日の展望委員会で決定します)

①1章は他章と比較して「はじめに」が長く、その形式も他と異なっている。

② 欠けている重要なトピックがあるのではないか。

以下、これについて査読結果から引用。

(1) 7章は章のタイトルが エネルギー・環境問題 とあるが、環境問題一般を扱っているわけではないので エネルギーと水に関する環境問題 と変更した方がより適切なタイトルと存じます。

(2) 学術会議の「未来からの問い」 環境問題の中に 環境負荷物質 という項目がないのは少し違和感が感じられます。エネルギー問題だけが環境問題なのかとの疑問です。

(3) 6章においても 国土の利用と資源管理 の題で 資源は 農業資源、水産資源、野生動物から見た生物資源であり、SDGs を考えたときに鉱物資源がないのも違和感があります

次にこのような提言があるかどうか不明ですが、学術会議がこのような分野をカバーしていないのかもしくはできないかを問われるのではとの印象を与え、少し問題を残します。